

カナダ派遣

湧別高校 1年 秦 夏音

私はカナダの文化やカナダの食生活やカナダの人々の私生活を学びたいと目標を立ててカナダへ行きました。カナダではやはり1番食生活の文化が違うと思いました。コースを頼むと、スープ、サラダが最初に出て、次に魚や肉などの主食が出てきて、最後にデザートを食べるという順番です。これはレストランのコースを頼んだ時です。そして、フォークとナイフをお皿の上に置くと食事終了の合図です。そして、レストランやホテルに行った時は帰る時に15%のチップを置いて帰ります。私はカナダでカナディアンフードを食べることも出来ました。プーティンというポテトの上にチーズ、チーズの上にグレービーソースと言うカナディアン料理を食べたのですが、プーティンはとても美味しく、カナダで4回も食べることが出来ました。そして、私のホストファミリーはベトナム人だったのですが、ベトナム料理も初めて食べることが出来、初めての経験がたくさん出来ました。私は、カナダの食文化や食生活についての目標は良く出来たと思います。

そして、カナダの人々の私生活を知るという目標は、カナダでは学校に9時頃までに行き、ロッカーに荷物を入れ授業へ参加すると言う感じで始まり、朝の会などが外国には無い事にびっくりしました。授業中に携帯を使っても良かったり、お菓子を食べても良いというのは日本ではしてはいけない事なので、最初聞いた時、びっくりしました。そして学校へお化粧して行ったり、髪の毛を染めたり、私服で登校してもいいと言うのも日本ではしてはいけない事なので、初めて学校へ登校した時はとてもびっくりしました。生徒のみんなはとても優しく、たくさん話しかけて来てくれました。私は日本語が少し通じる子もいましたが通じない子もあたり前ですがたくさんいたので、自分の分かる単語やフレーズを言ったり、ジェスチャーで伝えようと頑張りました。英語のあまり聞き取ることが出来なかったりしたのでもっと積極的に何回も聞けば良かったと少し後悔しています。そして、ショッピングをしたときに札で払うことが多く、コインで払うことが少なかったのもっと練習して使えたら良かったなと思いました。

私は行く前、好奇心もありましたが、1週間のホームステイなどの体験に不安もありましたが、いざカナダに行ってみると時の流れは速くあっという間にホームステイは終わってしまいました。ホームステイではホストファミリーが温かく私を迎えてくれたおかげで私もリラックスして1週間を過ごすことができました。日本では出来なかったり、カナダにしかない物をたくさん食べたり、買うことが出来て良かったです。きちんと時間を守ったり、周りと協力して気を配りながら2週間過ごすことが出来たと思います。とても楽しく良い思い出がたくさん出来た派遣でした。